

11 ポップを作ろう！

—用紙に対する文字の大きさと配列の工夫—

新しい指導を考える会

ノートや観察カードなど、子どもたちは日常の学習の中で、さまざまな用紙と向かい合っています。しかし、書く「内容」を吟味することはあっても、「どのよう」に表記するか」についての指導は後回しになりがちなのではないでしょうか。

そこで活用したいのが「書写」の学習。今回は、国語の読書活動と組み合わせ、文字の大きさや配列を考え、おすすめの本のポップを作る活動を提案します。

1 はじめに

用紙全体と文字の大きさ・配列の関係を考えて書くことは、文・文章という文字の集まりをどう書くかという、小学校書写の総仕上げに当たる学習内容といえます。また、長い文章を書く機会が増える中学校生活への準備としても位置づけられます。今回は、書写での学習が他教科や日常生活に生きることを児童が実感できるように、国語と組み合わせた単元構成を試みました。五、六年ともに実践が可能です。六年を例にご紹介します。

2 指導計画と指導の実際

第一次（二時間）

「読書生活の振り返り」を導入に「国」

国語の教科書教材「本は友達」（六年P152～155）を使って、自分の読書生活の振り返りを行いました。学級全体での交流から、児童は、自分たちがさまざまなジャンルの本を借りたり、買い求めたりしていることを知りました。

国語の教科書付録「本がやって来る」（六年P238～241）を読み、自分たちがな

第二次（二時間）

ポップの秘密を探る

「自分たちのおすすめの本をポップにして紹介する」という学習活動の目的を知り、まずは教師が用意したポップなどを参考に、ポップの目的や種類、見せ方

の工夫点などを発表し合いました。
〈児童の気づき〉

- ・ポップには、紙の大きさや形など、多くの種類がある。
- ・キャッチコピーを大きく示したり、イラストを入れたりして、読みたと思えるような工夫をしている。
- ・情報によって文字の大きさを変えたり配列を工夫したりしている。

第三次（二時間）

用紙の大きさや形に応じた書き方を考える

「書」

前次の学習で気づいた「見やすさ・読みやすさ」という観点から、さまざまな紙に対応した文字の大きさや配列を押さえます。

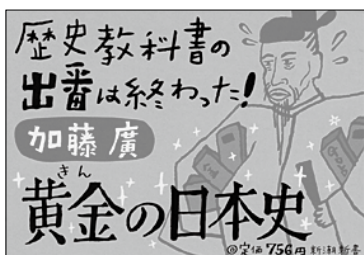
①試書

「創造」を題材に、いろいろな大きさや形式の紙に書いてみる（五年では、書写教科書P30・31「平和」「信念」を題材にするなどよい）。

文字数や紙の大きさ・形は全員でそろえたほうが、後から比較しやすい。実態によっては、紙の大きさ、文字数、縦書き・横書きなどに変化を加えた試書を行ってもよいだろう。

用紙を変えた試書の例。

- A：半紙（縦）
B：書き初め用紙（縦）
C：半紙（横）
D：色紙
E：角が丸い書き初め用紙（横）
F：円形の画用紙



出版社が作成し、書店や一般向けに提供しているポップなどを例として提示した（画像提供：新潮社）。



創造

創造

創造

創造

創造

創造

